

## 令和2年度 第3回野洲市総合計画審議会 議事録要旨

### ●日 時

令和3年1月27日（水） 10:00～11:30

### ●場 所

野洲図書館 ホール

### ●出席委員（委員区分毎・50音順）

1号委員：大野 裕己委員、田中 勝也委員、新川 達郎委員、原田 小夜委員

2号委員：浅田 邦保委員、入江 幸一委員、奥邨 武和委員、木村 靖委員、黒木 稔委員

柴原 喬委員、田中 悦子委員、中塚 勝委員、苗村 明夫委員、羽田 慎二委員、

林 かずみ委員、松沢 松治委員、水島 章夫委員、山本 一郎委員、山本 博一委員

4号委員：井上 輝子委員、松井 佑太委員

### ●欠席委員（委員区分毎・50音順）

2号委員：衛藤 信之委員、北村 真治委員、田中 康嗣委員、野口 明委員、望月 幸三委員、

山口 桂子委員

### ●事 務 局

川端政策調整部部長、川尻政策調整部次長、玉川企画調整課課長、岡田企画調整課課長補佐、

垂企画調整課専門員、亀井企画調整課主事

### ●傍 聴 者

3名

## 1. 開会

(1) 市長あいさつ

## 2. 審議事項

(1) パブリックコメントの結果について

—事務局より資料説明—

### ◇委員からの主な意見・質問

【委員】全体としてパブリックコメントの閲覧者はどれほどいたのか。

→【事務局】ホームページの閲覧数しか数えられないが、302件の閲覧があった。

【委員】提出された1件のパブリックコメントの提出方法は何か。

→【事務局】メールでいただいた。

→【委員】ホームページに提出用のフォームを付けるなど、工夫できるところがあるのではないかと。

→【委員】図書館で冊子を見たが、椅子もなく立ち見で、コメントできるような状態ではなかった。

冊子の閲覧についてもやり方を考えてもらいたい。

【委員】9ページの土地利用現況図について、田と山林など、似た色で分かりづらい部分があり、また分類が細かすぎるのではないかと。

→【委員】同ページの文章を8ページに移して図を大きくすれば多少見やすくなるのではないか。また、囲み線を太くする等市街化区域が狭いということを強調できたらいい。

【委員】基本計画の、対応する主なSDGsのゴールについて、一覧表があれば分かりやすい。

【委員】37ページ「施策2 青少年の健全育成」の指標「少年センターの相談件数」について、目標値が現状値より増加しているが、取組をすることで減少するのが本来の姿ではないか。53ページ「施策5 生活困窮者等への支援の充実」の指標「生活困窮者支援事業において支援プランを策定した数」についても同様である。

→【事務局】現状として、相談場所を知らない方もおられ、また相談を希望する方すべてに対応できているわけではないため、相談支援体制の整備や情報発信を行うことで必要な方に結びつき相談件数が増えるという目標としている。

→【会長】相談や支援プランが必要な潜在的な層に対しての福祉を実現していくのがこれらの指標の趣旨だと考える。

→【副会長】包括的な相談窓口を増やして、幅広く相談窓口を啓発していくことが施策の方向性になっているため、相談件数は増加することが想定される。

【委員】相談窓口について、気軽に相談できる雰囲気づくりや広報が必要である。

【委員】計画を推進しようとするとならば財源が必要となるが、そこが書かれておらず、進めていけるのか不安に思う。ふるさと納税については、税額控除となった金額はいくらか。

→【事務局】財政については80ページ「施策3 効果的・効率的な行財政運営」に記載しており、経営改善アクションプランにおいても歳出の適正化と歳入の確保に努めることとし、取組を順次進めている。またふるさと納税について、令和2年度の税額控除の額は概ね8000万円程度と聞いている。

【委員】38ページ「施策3 学校教育の充実」において「プログラミング学習や英語力など、新しい能力の獲得が…」という文があるが、プログラミング学習は能力ではないため、表現の整理が必要である。

【委員】計画づくりに関わった立場として今後の進捗は気になる。例えばチェックする検討会等PDCAの回し方をもう少し具体的に書いてほしい。

→【事務局】外部の方を招いた進捗管理のための審議会など、今後運用の中で検討していく。

## (2) 委員から一言

【委員】野洲の子どもが持つポジティブな側面や市民が持っている循環的思考などの野洲市の強みが今後運用において開花するようにうまく進めていただきたい。

【委員】総合計画は全体のイメージなので、どう実現するのかを具体化し市民に届けていくことが必要である。また、コロナ禍等で変化する社会のニーズに応じて途中で改定するなど柔軟な対応をPDCAサイクルの中ですべきである。

【委員】大きな方向性を示すという意味で、良い計画であると思う。個別で小さくPDCAサイクルを回しながら、実現化に向けてかんばんしていただきたい。

- 【委員】 どのような会議でも女性が少なく思うので、女性が半分を占めるようになってほしい。
- 【委員】 歳入のための具体策が書いていない中で、どこまで計画が進められるかの検証が今後必要ではないか。
- 【委員】 福祉を俯瞰的に見ることが出来、良い経験になった。計画が実現できるよう、所属団体にも共有する。
- 【委員】 5万人のまちで全てを網羅していくのは難しいと思うので、濃淡をつけながらすばらしいまちを築いてほしい。
- 【委員】 若者から高齢者まで集まって、将来のビジョンを話し合えるような活動ができればいいと思う。
- 【委員】 計画を進めるにあたり、ボランティアの力も必要になると思うが、負担になりすぎないように進めていただきたい。
- 【委員】 行政と市民に乖離を感じるので、市の職員がいかに市民の中に飛び込んでいけるかが大事だと思う。
- 【委員】 10年は長いようで短いので、市政や運営方法を変えるのは難しいところがあると思うが、計画を基に市民に伝えることで、市民の思いは変えられると思う。
- 【委員】 総合計画は市民のための計画で、市民が評価できることが重要なので、総合計画に基づき何をしているのかを市民に分かるかたちで開示してほしい。

### 3. 答申

- (1) 新川会長から栢木野洲市長に「第2次野洲市総合計画（案）」を答申。

### 4. その他

- (1) 今後のスケジュール及び資料編の内容について  
—事務局より資料説明—

### 5. 閉会